



《校訓》 明朗 剛健 創造

太田中だより

令和3年4月28日発行 厚岸町立太田中学校 第2号

～めざす生徒像～

自ら考え、共に手を取り、ふるさとの未来をつくる太田の子

- ◆ 自分の考えをもち、自ら進んで学び、創意工夫する生徒 (知)
- ◆ 生命を尊重し、互いの存在を思いやり、協力して活動する生徒 (徳)
- ◆ 自己の心身の健康を保持増進し、体力の向上に努める生徒 (体)

5月の行事予定

日	曜	行事
1	土	春季バドミントン大会
2	日	
3	月	憲法記念日
4	火	みどりの日
5	水	こどもの日
6	木	朝会 委員会 分掌部会
7	金	耳鼻科検診
8	土	
9	日	
10	月	開校記念日
11	火	運営委員会 学校開放
12	水	職員会議 図書バス ALT
13	木	委員会
14	金	眼科検診
15	土	
16	日	
17	月	朝会 代表者会議
18	火	内科検診 学校開放
19	水	ALT
20	木	クリーン作戦 研修 小学生1日登校
21	金	委員会 宿泊研修説明会 定時退勤日
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	春の三者面談① 学校開放
26	水	春の三者面談② 図書バス ALT
27	木	全国学力学習状況調査 委員会
28	金	クリーン作戦予備日 第1回英検
29	土	厚岸町少年の主張大会
30	日	
31	月	朝会 学習規律反省 町研5月大会 定時退勤日

未来を切り拓き、たくましく生き抜く子

校長 沼田 卓二

新学期がスタートして約3週間が経過しました。24日(土)にはPTA総会が行われ、令和3年度の太田中学校が本格的に始動したことになります。同日に行われた学校説明会の席上、今年度の学校経営方針「Road to 2050」(2050年への道)について説明させていただきました。これは、環境問題、人口減少、食料問題、自然災害の激甚化などの諸課題がより顕在化すると予測される2050年代に社会の中心を担う人材(現在の中学生は40代になります)の育成を視野に入れた教育活動を目指す意味が含まれています。



これからの子どもたちは、正解のない課題に対して、自ら考え行動し、他者と協働しながら最適解(あるいは納得解)を導き出す資質・能力が必要になるといわれています。

そこで「めざす生徒像」を上記にあるとおり「自ら考え、共に手を取り、ふるさとの未来をつくる太田の子」と設定しました。変化の激しい予測困難な未来を、子どもたちが切り拓き、たくましく生き抜く資質・能力を育むことが学校が果たすべき使命です。次の3つを重点に、令和3年度の太田中学校の教育をすすめてまいります。

■重点1 つくる (価値を創造)

- 1. 個別最適の授業
- 2. 社会とつながる教育
- 3. SDGsの理念の行動化

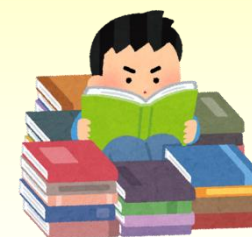
■重点2 ささえる (安心と安全)

- 1. ひとりを大切に
- 2. 人を大切にする生徒
- 3. 生徒の生命・健康を守る

■重点3 つながる (連携と協働)

- 1. 小学校との連携
- 2. 教職員の資質を向上
- 3. 保護者・地域と共に

4月23日(金)より5月12日(水)までは「2021年・第63回こどもの読書週間」です。変化の多い、先が見えない時代だからこそ、読書を通して子どもたちに、自分で考え、自分なりの答えを見出す力を養ってほしいと思います。公益社団法人「読書推進運動協議会」の公式ホームページでは『こどもの読書週間』を次のように紹介しています。～これは子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。～



新型コロナウイルス感染症の感染状況が再拡大傾向にあり、外出の際も感染症対策に留意しなければならない状況ですが、外出を控えることを「自分と向き合う時間が増えた」と前向きにとらえ、読書に挑戦してみるのもひとつの考えだと思います。生徒の皆さん、この大型連休中、読書を通じて「新しい世界」との出会いの旅をしてみてください。

地域のみなさまへ (お願い)

感染症予防の校内消毒に使用する雑巾が不足しております。雑巾をご提供いただける方は、中学校教頭(52-2297)までご連絡をお願いします。